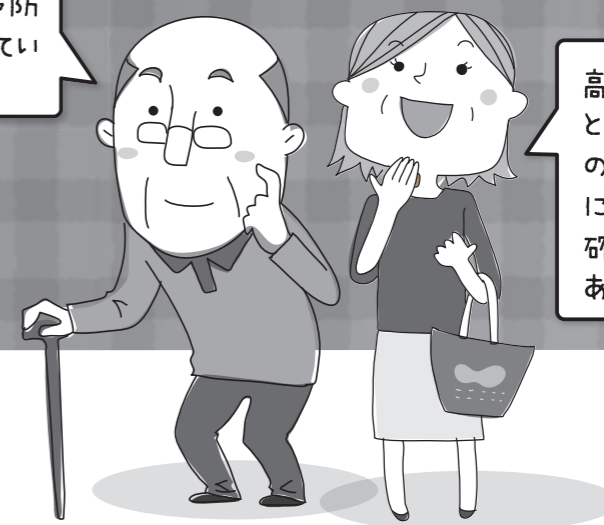


敬老乗車証制度は改悪するな! 無料に戻せ!

寝たきりやひきこもりをつくらない予防策にもつながっていると思います。

日本共産党京都市議員団は、下記の見解を發表しました。



高齢者が外に出ることは、本人はもちろんのこと、家族や社会に益をもたらすのは確かです。無料であってほしいです。

「アンケートの声」より

敬老乗車証アンケートにすでに約1500通のハガキが

ご協力ありがとうございます/ ございます。

7月1日の社会福祉審議会で、敬老乗車証の現行制度を乗車回数に応じて費用負担を求める仕組みに変える「答申」(案)が承認されました。

敬老乗車証は、市バス・地下鉄を自由に乗り降りでき、一部地域では民営バスにも対応しています。その目的は、高齢者に敬老の意を表し、様々な社会活動に参加して、生きがいづくりに役立ててもらうことです。

8年前、最大1万5000円の自己負担を求める有料化が強行されてから、交付率が7割から5割へと大きく後退。今回、日数制限や1乗車100円の自己負担導入など、限定的なものに改悪しようとしています。



日本共産党市会議員団が市長に申し入れ (6月26日)

- 敬老乗車証の日数制限や乗車時の自己負担導入など、制度改悪は行わないこと。
- 敬老乗車証は、無料に戻すこと。
- すべての地域で、交付対象を民営バスにも拡大すること。



日本共産党京都市会議員団

京都市議会報告 2013年7月 京都市中京区京都市役所内

TEL: 222-3728

FAX: 211-2130

日本共産党京都市会議員団 検索

E-mail: info@cpgkyoto.jp

ご意見をお寄せください